

科学的探求Ⅲ 全国高等学校総合文化祭

令和5年7月29日～31日 鹿児島県にて開催

2023 かごしま総文 自然科学部門に本校科学部が参加し、口頭発表を行いました。

研究発表 化学分野(3年生2名)「廃棄チョークを用いた除湿剤の開発」 奨励賞受賞

化学分野に参加した2名の生徒は、1年生の頃から「学校で大量に廃棄されるチョークを活用できないか」と考え、様々な実験を行ってきました。なかなかテーマが決まりませんでした。2年生になり、化学の学習が始まると、チョークの主成分である炭酸カルシウムに着目し、化学反応を用いて塩化カルシウムを生成し、除湿剤としての性能を評価することをテーマとして、研究を始めました。研究を始めた時期としては遅くなってしまったので、発表までに大変なこともたくさんありましたが、毎日のように実験室で活動し、協力している2人の姿を見てきたので、全国総文に出場でき、研究を評価していただけたことを大変嬉しく思います。

研究発表 物理分野(3年生2名)「マスクによる音圧レベルの変化」

物理分野に参加した2名の生徒は、コロナ渦でマスクの着用が義務づけられたときに、マスク着用時の声の聞き取りにくさに着目し、1年生の時から実験を行ってきました。音の実験は、わずかな周りの環境の変化や実験条件により、結果が変化してしまいます。そこで、2人は他の生徒が登校していない早朝に実験し、多くのデータをとることで、実験の誤差を小さくする工夫をしてきました。大会に出発する前日までデータを取り、発表直前までスライドの細かな修正を行い、堂々とした態度で発表を行うことができました。

かごしま総文では、研究発表、巡検研修、生徒交流会、記念講演等をコロナ前の実施の内容とほぼ同等の内容で、実施していただけました。生徒間の交流や、鹿児島を自然を感じる巡検研修会など、充実した大会内容となりました。最後になりますが、今大会の開催にあたりご尽力いただいた多くの関係者の方々に深く感謝いたします。

